

令和5年度

倉吉市教育行政の点検及び評価

倉吉市教育委員会

令和6年6月

令和5年度 倉吉市の教育方針と重点施策

～行きたい学校・
帰りたい家庭・
住みたい地域～

教育基本法

・人格の完成と、社会の形成者としての国民の育成

学校教育法

社会教育法

図書館法

文化財保護法

博物館法

【教育理念】

豊かな心を持ち 自立して生きる 未来を拓く 人づくり

【教育大綱】

- ・創造性を培い、豊かな心と健やかな身体を養う。
- ・幅広い知識を身に付け、自立して生きる力を養う。
- ・社会の一員として、多様な人とともに、協働する力を養う。
- ・郷土を愛し、自然を大切にし、伝統や文化を尊重する態度を養う。

第12次倉吉市総合計画

まちづくりの基本理念

【将来像】

元気なまち、くらしよし、未来へ！
基本目標3【教育・文化】
未来を拓く人を育て、芸術が輝くまちづくり

倉吉市教育の創造

- ・第3期倉吉市教育振興基本計画の進ちよく管理（5年計画の3年目）・教職員の働き方改革の推進
- ・倉吉市教育委員会の活性化（教育に関する事務の点検・評価の推進、総合教育会議、学校）
- ・「倉吉市立小学校適正配置推進計画」に基づく学校再編の推進（各地区協議会での課題の明確化とその対応）
- ・ICTの効果的な活用推進

1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり

① 開かれた学校づくりの推進

- ・地域学校委員会（コミュニティ・スクール）の活性化
- ・「学校評価アンケート」の実施と結果の分析及び公表
- ・倉吉市小中学校一斉公開 ・地域の次世代育成

② 家庭教育の充実

- ・PTA連合会との共催による教育講演会 ・地域未来塾
- ・「くらし子育て応援ブック」の活用
- ・「倉吉の子育て十か条」の啓発、推進

③ 地域力を育む社会教育の推進

- ・生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備（生涯学習講座、鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座の開催）
- ・将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり（放課後子ども教室、子ども会活動の支援、ハイスクールフォーラム、実行委員会によるはたちのつどいの実施）

④ 公民館活動の推進

- ・人づくり、地域づくりにつながる公民館（コミュニティセンター）の機能強化

⑤ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館

- ・テーマ性のある展示の展開
- ・美術賞（前田寛治大賞）の開催
- ・教育普及活動の充実

⑥ 豊かな心を育む図書館

- ・読書活動の推進
- ・対象者のニーズに応じたサービスの提供
- ・山上憶良短歌募集事業の継続



3 安心・安全な教育環境の充実

⑩ 組織的・機能的な学校運営

- ・教職員の働き方改革の推進 ・共同学校事務室の設置

⑪ 安心して教育を受ける機会の推進

- ・児童生徒に向き合う時間を十分確保するとともに、きめ細やかな指導を展開するための人的配置 ・相談体制の充実
- ・不登校の未然防止と早期対応
- ・各種就学援助の周知と適切な執行
- ・奨学金制度 ・児童生徒遠距離、高校生通学支援

⑫ 教育環境の整備充実

- ・学校施設の適正な維持管理

⑬ 学校の適正配置の推進

- ・適正配置協議会、各地域説明会の開催
- ・北谷小学校高城小学校統合 ・小鴨小学校上小鴨小学校統合
- ・集合学習の実施

⑭ 文化教養施設・体育施設の整備充実

- ・施設の長寿命化 ・老朽施設の修繕、改修



4 たくましく健やかな心と体づくりの推進

⑮ 人権尊重社会の担い手づくり

- ・「学校教育における人権教育の基本方針」に基づく人権教育の推進
- ・児童生徒意識アンケート ・いじめを許さない学校体制づくり
- ・相談体制の充実 ・情報モラル教育の推進（9年間カリキュラム）

⑯ たくましい体の育成

- ・学校体育の充実 ・中学校部活動の地域移行
- ・子どもの年齢に応じた体力づくりの推進

⑰ 学校給食の充実、食育の推進

- ・栄養教諭などによる学校での食に関する指導
- ・親子で学ぶ食の教室の実施

⑱ 体育・スポーツの振興

- ・スポーツ活動支援（スポ少補助、体育大会、全国大会補助等）
- ・生涯スポーツの推進（スポーツ推進委員、ニュースポーツ交流会）

2 創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進

⑦ 幼児期の教育と小学校教育の連携

- ・幼児期の教育と小学校教育の連携
- ・接続カリキュラムの作成・活用

⑧ 学力向上の推進

- ・ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
- ・児童生徒の協働的な学びにおける効果的なICT活用

⑨ 特別支援教育の充実

- ・倉吉市「個別の支援計画」と「個別の指導計画」の活用
- ・小学校1年生対象の読みに対する早期支援



5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興

⑰ 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

- ・小中学生リーダー会議開催 ・くらし風土記の活用
- ・はたちのつどい実行委員会

⑱ 文化財の保存、活用、伝承

- ・文化財の啓発と市民との協働 ・大御堂廃寺跡の整備と活用

⑮ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館【再掲】

- ・テーマ性のある展示の展開 ・教育普及活動の充実

目 次

はじめに	1
1 評価・公表について	2
2 評価に当たって	3
3 主な重点施策の成果	3
4 重点施策の実績と評価	5
・開かれた学校づくりの推進	5
・家庭教育の充実	5
・地域力を育む社会教育の推進	5
・公民館活動の推進	6
・「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	7
・豊かな心を育む図書館	7
・幼児教育の充実	8
・学力向上の推進	8
・特別支援教育の充実	9
・組織的・機能的な学校運営	9
・安心して教育を受ける機会の推進	9
・教育環境の整備充実	10
・学校の適正配置の推進	10
・文化教養施設・体育施設の整備充実	10
・人権尊重社会の担い手づくり	11
・たくましい体の育成	11
・学校給食の充実、食育の推進	12
・体育・スポーツの振興	12
・倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	13
・文化財の保存、活用、伝承	13
5 教育委員会の主な動向	15
(1) 教育長、教育委員の在任状況	15
(2) 教育委員会の会議	15
(3) 教育委員会の開催状況	15
(4) 総合教育会議の開催状況	18
(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加	19

はじめに

平成19年6月に「教育改革関連3法」の改正が行われ、その中で、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実に関する規定の整備を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないとされました。

倉吉市教育委員会では、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年に第11次倉吉市総合計画と連携した「倉吉市教育振興基本計画」を策定し、将来的な方向性や以後5年間（平成23年度～平成27年度）に重点的に取り組むべき施策を示し、平成28年には今後、一層進む少子高齢化社会に対応する教育行政をするために、「倉吉市教育振興基本計画（第2期）」（平成28年度～平成32年度）を策定して、各年度の「倉吉市の教育方針と重点施策」と「倉吉市教育行政の点検及び評価」により進行管理を行い、着実な計画の推進に努めてきました。その結果、倉吉市の教育理念「豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり」の実現を図るための様々な施策を展開することができました。

こうした中、本市の教育行政の更なる発展を見据えた次世代の教育が求められており、本市教育の目指すべき姿とその実現に向けたより実効性のある計画となるよう、教育委員会各課館所の連携を重視した「豊かな心を持ち 自立して生きる 未来を拓く 人づくり」を教育理念に掲げ、第12次倉吉市総合計画（令和3年3月策定）と連携した「倉吉市教育振興基本計画（第3期）」（令和3年度～令和7年度）を策定しました。

「倉吉市教育振興基本計画（第3期）」3年目の倉吉市教育委員会は、「社会全体が協働し学び続ける環境づくり」、「創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進」、「安心・安全な教育環境の充実」、「たくましく健やかな心と体づくりの推進」、「文化資源の保存活用と文化・芸術の振興」を教育目標と基本施策とし、自ら設定した教育に関する方針や施策の実現を図るため、事業等の取り組み状況を日々点検・評価を行いながら改善を図り、より充実したものとなるよう努めてまいりました。

そして、市民から信頼される教育行政を目指し、教育委員会や事務局の役割、事業の進捗状況等について説明責任を果たすため、重点的に取り組んだ20項目の点検・評価を行い、その結果を公表し、効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の会議の開催などの活動状況を記載し、ここに報告書としてまとめました。

《参照》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 評価・公表について

(1) 実施時期

点検及び評価は毎年度行うこととされており、当該年度における取り組み状況の点検・評価を年度内に行う。

(2) 評価の方法

教育委員会全般にわたり適正な教育行政の点検・評価や総合計画に掲げた目標水準の達成状況、施策の進捗状況との整合性を図りながら評価項目を策定し、評価にあたっては、審議会等に諮り、自己評価、外部評価を行う。

(3) 議会への報告

報告書を作成し議会に提出しなければならないこととされており、6月市議会に報告を行う。

(4) 一般への公表

課題を共有化しその解決を図るために広く意見を求め、より適正な評価に努めるために評価結果を市民に公表する。

(5) 各種教育関係機関の評価結果の活用

学校評価、社会教育団体、文化団体、スポーツ団体の評価結果の効果的な活用を行う。

(6) 外部の有識者等の知見の活用

○点検・評価・公表の流れ

教育委員会事務局の組織マネジメント(PDCA)及び業務評価システムの確立

P計画 → D実施 → C検証(中間評価) → A実行 → C評価(自己・最終)

4月 倉吉市の教育方針と重点施策を基にした各課の基本方針と実施計画を策定する



9月 重点施策の実施計画の進捗状況のチェックを中間評価とする。



3月上旬 重点施策の実施状況を各課で自己評価をする。



3月 各課の担当する審議会等に自己評価結果を提出し、外部評価を最終評価とする。



4月 教育委員会定例会で業務評価として協議し、6月市議会に提出・報告する。
市民へは、リーフレット、ウェブページ、市の広報誌等を活用して公表する。

2 評価に当たって

第12次倉吉市総合計画における、施策と教育委員会事務局で取り組んでいる施策との整合性を図りながら総合的な観点での評価に心がけた。評価に当たっては、令和5年度各事業の施策に示した目標に向かって、取り組むべき事業ごとに「目標」「実績」「成果」「課題」の観点に分けて行うこととした。また、評価項目については特に焦点化をはかり点検・評価の重点化を図ることとした。

○ 評価基準

平成24年度評価より評価基準を見直し、目標を上回る成果が上がった場合をA評価とした。目標値達成率を目安に、「成果」欄には、実績によって得られた成果を中心に評価を行った。

成果	判断基準
A	当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	当初の目的・目標を達成した
C	当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	当初の目的・目標を大きく下回った
評価せず	感染症対策等が原因で意図に反して目標を達成できないが、下回ってもいない

3 主な重点施策の成果

区分 施策と担当課	施策数	成果				総合
		A 目的・目標を上回る	B 目的・目標を達成	C 一部の進展に止まった	D 目的・目標を下回る	
1 開かれた学校づくりの推進						
学校教育課	2		2			B
教育総務課	2		2			
2 家庭教育の充実						
学校教育課	2	1	1			B
3 地域力を育む社会教育の推進						
社会教育課	2		2			B
4 公民館活動の推進						
社会教育課	1		1			B
5 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館						
博物館	3	1	2			B
6 豊かな心を育む図書館						
図書館	3		3			B
7 幼児教育の充実						
学校教育課	1		1			B
8 学力向上の推進						
学校教育課	3	1	2			B

区分 施策と担当課	施策数	成 果				総合
		A	B	C	D	
		目的・目標を上回る	目的・目標を達成	一部の進展に止まった	目的・目標を下回る	
9 特別支援教育の充実						
学校教育課	2		2			B
10 組織的・機能的な学校運営						
学校教育課	3	1	2			B
11 安心して教育を受ける機会の推進						
学校教育課	1		1			B
教育総務課	2		2			
12 教育環境の整備充実						
教育総務課	1		1			B
13 学校の適正配置の推進						
学校教育課	1	1				A
14 文化教養施設・体育施設の整備充実						
博物館	1		1			B
社会教育課	1		1			
15 人権尊重社会の担い手づくり						
学校教育課	4		4			B
16 たくましい体の育成						
学校教育課	1		1			B
社会教育課	2		2			
17 学校給食の充実、食育の推進						
学校給食センター	2	1	1			B
社会教育課	1		1			
18 体育・スポーツの振興						
社会教育課	2		2			B
19 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成						
学校教育課	3	1	2			B
20 文化財の保存、活用、伝承						
文化財課	3		3			B
計	49	7	42			

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
I 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	① 開かれた学校づくりの推進	1 地域学校委員会の活性化	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 各学校とも地域学校委員会を2~4回開催し、地域連携を推進した。 「教育を考える会」は8割の学校が実施し、地域の教育や地域の良さ、親子や地域のコミュニケーション方法等について考えたり、情報交換を行ったりした。 【課題】 地域学校委員の次世代への継承 「教育を考える会」「学校一斉公開」への参加者数増のための取組 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校が地域学校委員会を開催し、地域との連携を深めることができた。 全ての学校が、各種教育活動について地域学校委員会と協議し決定することで、地域の理解を深めたり、改善につながったりすることができた。 全学校が学校ウェブページを活用して学校の取組、児童生徒の様子、学校評価等の公表を行った。 各学校がアンケートや調査等の結果をもとに定期的に組織的な改善に取り組んだ。 総合教育会議では、中学校での進路指導、コミュニティセンター活動の充実に向けた部局間の連携、地元高校の魅力化の取り組み、体験的学習活動等休業日など市長と教育委員との充実した意見交換ができた。
		2 「学校評価アンケート」の実施と結果・公表、倉吉市小中学校一斉公開	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 各学校が定期的にウェブページの更新を実施した。 学校毎に学校公開、学校評価の実施と公表を実施。 【課題】 一斉公開への地域の皆さんの参加者増加 	B		
		3 基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> 中間年度にあたり、これまでの振り返りと、教育行政を取り巻く環境の変化等に対応するため、所要の見直しを図った。 計画訪問、諸行事へ積極的に参加し、自己研鑽を図った。 実施計画に基づき、中間評価、進捗状況を確認し、各課ごとの評価を行い教育委員会内の関連する部署間の連携が図れた。 【課題】中間評価で進捗状況を点検して課題を整理し、的確な対応を図る。 	B		
		4 倉吉市教育の方針の明示 住民の意向や教育現場の実情の把握 総合教育会議の充実 教育委員の活動の顕在化	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> 不定期だったが、リレーコラムをホームページに掲載し、委員の感じたこと、思いを発信することができた。 【課題】引き続き延滞なく情報発信に努める。 毎月の定例会、年2回の総合教育会議においては、諸課題に向けた議論を行うことができた。 【課題】意見交換の場に留めず市長部局と教育委員会に関連する部局の連携強化を図る。 研究事業、研修会へ積極的に参加し、自己研鑽が図れた。 	B		
	② 家庭教育の充実	1 PTA連合会との共催による教育講演会	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り、倉吉市人権教育研究会と連携し、教育講演会を実施した。(内容:共生社会をテーマにした講演及び映画「みんなの学校」の上映 参加者:小中学校教職員及び保護者52名、その他一般参加者あり) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 教育講演会を予定どおり実施した。倉吉市人権教育研究会と連携し、内容も充実したものととなった。 実施回数 上井教室27回 はばたき教室29回
		2 地域未来塾	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉地域未来塾を6月から2会場で開催。 大雨、積雪により実施を取り止めた場合があったが、ほぼ計画どおりの実施となった。 【課題】 地域未来塾の指導者の確保 	A		
	③ 地域力を育む社会教育の推進	1 生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座について、「つながる」を主テーマに「健康と体温」「生成AIと人」「情報と人」等全5回にわたり実施し、延べ355人(R4:275人)の受講者があった。 生涯学習講座について、「沸騰キーワード~くらし編~」と題し、新しい動きとして注目されている5つのキーワードを取り上げ、私たちの生活の中にどのように取り入れることができるかを考える講座として実施した。延べ200人(R4:357人)の受講者があり、新規受講生は15名、全5回講座すべてに参加した皆勤賞の方は13名あった。 とっとり県民カレッジ連携講座として、地域の未来を考える講演会とグループトークを実施した。中高生を含め40人(R4:21人)の参加があった。グループトークでは中高生が積極的に発言し、地域の大人と対話することで新たな気づきや学びを得る機会となった。 【課題】 受講者のほとんどが高齢者で固定化している。若年層をはじめ幅広い年代層の新規受講者を増やすための内容や実施方法を検討する必要がある。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座、鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座等を通して、市民の学習要求に応えるとともに、地域の一員として、その役割を果たしつつ、現代社会をより良く生きるために必要な課題等を学習する機会を提供できた。

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価	
I 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	③	地域力を育む社会教育の推進	2	将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり	<p>・各地区における放課後子ども教室を市内で16教室、年間を通して実施。各地区で地域資源を活用しながら、地域の特色を生かした事業を展開した。また、今年度から児童館・児童センターとの連携事業が2館から3館に増えた。全体の事業進捗状況の確認及び情報交換を行う運営委員会を2回実施した。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合に伴う実施体制の構築、支援が必要。 ・安全管理員等の高齢化・固定化が見受けられ、地域における新規の参画者を確保する必要がある。 	B	B	<p>・市内各地区いきいきプラン実行委員会をはじめ、各種団体や関係機関と連携しながら、青少年の活動の場や機会を提供し、将来を担う青少年の育成につながる取り組みを行うことができた。</p> <p>・二十歳の節目を市民とお祝いするとともに、実行委員会による企画運営と中高生ボランティアの参画を通じて、若者同士のつながりや活躍の場の創出と将来を担う人材を育成する取り組みができた。</p>
	④	公民館活動の推進	1	人づくり、地域づくりにつながる公民館の機能強化	<p>社会教育課 (地域づくり支援)</p> <p>・はたちのつどいに296人(R4:296人)の出席者があり、出席率67.5%と前年より1.8ポイント上回った。</p> <p>・13名の実行委員が主体となり、実行委員会企画の準備や当日運営を行った。実行委員OBの体験談や助言を受け、より充実した企画内容、円滑な準備につながった。</p> <p>・4年ぶりに中高生ボランティアを募集し、受付や実行委員企画において、中高生の活躍の場を提供することができた。</p> <p>・市政啓発コーナーを設置し、二十歳の若者へ関心を高めていただくよう直接PR等を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>実行委員としての経験を、今後の地域での仲間づくりや活動に活かし、地域の担い手として活躍できるよう、主体的な運営を促していく必要がある。</p>	B	B	<p>・各地区において、それぞれの地域課題に応じたテーマ・プログラムに沿って、地域住民を巻き込みながら課題解決につながる学習活動を行うことができた。</p>

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 要 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
I 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	⑤ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	1 テーマ性のある展示の展開	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展、企画展等、計画どおりに開催できた。 ・「ヨシタケシンスケ展かもしれない」は3万人近い来館者が作家の絵本の世界を堪能した。「木の表現」展は大塚弘道氏の作品とともに市内在住の木工芸作家の作品を数多く展示し、来館者がその巧みな技法に触れる機会を提供し、充実した関連イベントも企画できた。 ・特展は、著名な巨匠たちの作品群に触れる機会を創出し、市民に感動を届けることができた。 ・県立美術館との連携は、連携事業補助金を活用し前田寛治大賞展において前田作品の借り上げ展示を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価の課題として挙げた市民と協働して取り組むWS等の開催は実施出来た。WSを通じて新たな創作者の育成は引き続き大きな課題である。 ・県立美術館との連携協議は、R6には必ず取り組みたい。 	A		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ性のある展示の展開については、3つの特別展、3つの企画展、常設展を実施し、市民に良質の作品群に触れる機会を提供し、感動を生み起こすことができた。 ・県立美術館との連携については、協議のテーブルについて話し合うことはできなかったが、美術館連携補助金を活用して事業を実施するなどの連携ができた。 ・前田寛治大賞展は、計画通り実施できた。東京会場では写実作品が一堂に揃う本展に多くの来場者があった。倉吉会場は、前田寛治作品をあわせて展示したこと、改めて本大賞展の意義を伝えることができた。 ・教育普及活動の充実については、ほぼ計画どおり実施できた。美術・歴史・自然の各分野にわたる各種講座やものづくりの実技講座とあわせて多様な普及事業を展開することができた。博物館資料や地域の資源を取り上げ、市民に知る喜びを感じ取ってもらうことができた。 ・改修工事のより例年実施していた自然科学展が開催できなかった代わりに、夏休み自然科学教室を6回開催し、児童・生徒に身近な自然の大切さ等を伝えることができた。
		2 美術賞(前田寛治大賞)の開催	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・前田寛治大賞展は、作品の集約及び東京会場展・倉吉会場展ともに計画どおり開催できた。作品に対する審査委員及び来館者の評価も高く、倉吉会場では、前田寛治作品を他館から借用し展示できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉会場では、前田寛治の作品を展示したこと、寛治が目指した写実と現代作家との比較でき、入館者にも満足いただいた。前田寛治の顕彰広報を粘り強く進めることで倉吉会場の入館者も増えるものと思われる。 	B		
		3 教育普及活動の充実	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座を計画どおり10回実施できた。 ・自然ウォッチングは全11回のうち、荒天で中止した1回(水鳥ウォッチング)を除き実施できた。定員を設け事前予約制としたため荒天等で中止する際の連絡がとれた。コロナの感染状況がやや収まる状況にのなか、定員を上回る応募状況もみられた。 ・県立博物館との共催で3回にわたり打吹山をフィールドに野外観察を実施した。 ・地区コミュニティセンター、県東応援団等、各種団体からの要請に応じて講演会、野外観察会、野外彫刻案内等を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響も薄れ、従前に近い講座やウォッチングが開催出来た。一方で、参加者制限を続けたことにより受益者への広がりが限定されてしまった。R6にはなるべく制限を取り払いたい。 	B		
	⑥ 豊かな心を育む図書館	1 読書活動の推進	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業は、引き続き感染対策に気を配りながら、個別に読み聞かせをし、絵本をプレゼントすることに合わせ、図書館で開催するおはなしかいの案内も行った。 ・定例開催のおはなしかいのほかに、各種団体の協力を得て、けんせつ絵本、紙芝居、わらべうた、ストーリーテリングなど工夫を凝らした様々な体験を行っていた機会を提供できた。 ・絵本作家山ロマオ子育て講演会は、中部読書活動推進フォーラム実行委員会との共催により開催し、絵本の読み聞かせを交えながら、絵本の魅力を感じていただける講演会となった。また、ワークショップでは、中高生ボランティアの協力を得た。 ・放送大学から教材図書のを寄贈を受け、放送大学コーナーを設置した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館開館に向け連携について協議を進める。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、図書館システムの更新を行い、スマホで利用券を表示させるなど、利用者の利便性向上を図ることができた。 ・ブックスタート事業、おはなしかい等を通じて、読書に親しんでいただく機会を提供できた。

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 要 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	⑥ 豊かな心を育む図書館	2 対象者のニーズに応じたサービスの提供	図書館	<ul style="list-style-type: none"> 各展示コーナーは、司書の研修で作成したポップや図書館実習やインターンシップで受け入れた学生にもポップや装飾など製作してもらうなど工夫しながら展示し、利用促進につなげた。 音読教室は、計画どおりに実施した。 各種相談会は、関係機関と調整しながら、計画どおりに実施した。10月からは新たに「働き始めるための出張相談会」を開始した。 鳥取大学との共催事業は計画どおりに実施し図書館利用につなげた。 農業セミナー、国際交流ライブラリー講演会は、共催団体と協力し計画どおりに実施した。 音訳資料作成は、計画どおりに実施しデザイナー図書の出発などにつなげた。 <p>【課題】 読書バリアフリー計画をもとに具体的な取組を行う。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市障がい者プランに内包する形で「倉吉市視覚障がい者等の読書環境整備推進計画」を策定した。今後、関係機関と連携を図りながら計画を推進していく。 山上億良短歌募集は、昨年度に比べて微増ではあったが、新規応募の県外高校もあるなど広がりを見せ、永田氏による短歌講演会は、大変好評であった。また、作品揮毫展(巡回展)の開催について、受賞者に案内したところ県外からの来訪につなげることができた。 図書館が、多様性を持って市民の豊かな心を育み、そして暮らしに役立つ情報の発信・提供により地域のハブとなるよう、引き続き取り組んでいく。
		3 山上億良短歌募集事業の継続	図書館	<ul style="list-style-type: none"> 応募数は全国から4,732首(うち市内小学生491首、市内中学生432首、合計923首)の応募があった。 3月には表彰式、そして選者の永田和宏氏による短歌講演会を開催することができた。 揮毫展は、巡回展として4箇所(5期間)で開催した。 <p>【課題】 引き続き応募者数の増加、交流人口の増加を図るための取組を行う。</p>	B		
2 創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進	⑦ 幼児教育の充実	1 「幼児教育、小学校教育連携カリキュラム」の改訂・活用 幼児の子育て支援体制の継続・充実	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市幼児教育研究会を実施し、今後の架け橋プログラムについての倉吉市としての方向性を示すことができた。 スタートカリキュラム、アプローチカリキュラムについては各園、小学校で作成し取り組んでいる。 すこやか相談では2回目2名、3回目5名と実施ができ、小学校に向けての不安について助言ができた。 <p>【課題】 架け橋プログラムの更なる理解の浸透と活用</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 架け橋プログラムへの移行が行われたため、今年度は園・小学校の管理職等にその理解をしてもらう研修会となった。倉吉市としての方向性も示すことができた。 来年度はさらに各校区で具体的な活動となるよう園・小学校と連携する。
		1 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 中部教育局、湯梨浜町教育委員会と連携し、研究主任パワーアップセミナーを計画、実施した(参加者14名) 中部教育局と連携し、授業づくり研修会を計画実施した。 <p>研修内容を活かしながら、質の高い授業実践が各校で展開された。(参加延べ人数約20名)</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校計画訪問、授業研究会での指導助言等を通して、授業改善を進めることができた。 (計画訪問実施校11校・授業研究会派遣12回) 中部教育局、湯梨浜町教育委員会等と連携し、校内研究推進、授業づくり等に係る研修会を実施し、各校の授業改善につなげた。 全国学力・学習状況調査の結果 【中学校6年正答率(全国比)】 ・国語70(+2.8) ・算数63(+0.5) 【中学校3年正答率(全国比)】 ・国語65(-4.8) ・数学47(-4) ・英語40(-5.6) 学校行政アンケート・タブレットを使って「学習が分かりやすくなった」と回答した児童生徒の率 小:88.6% (R4:83.6%) 中:82.9% (R4:78.9%) 昨年度と比較し、全体で81.9%から86.8%に増加した。
		2 学力向上の推進	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 各種学力調査を実施し、結果をもとにしながら、各小中学校へ、活用について働きかけた。 とっとり学力学習状況調査について、県教育委員会、文部科学省と連携し、調査結果の分析活用について研究及び各校への情報提供を進めた。 調査の活用を推進するため、全小中学校訪問を実施した。 また、倉吉市プロジェクトを立ち上げ、活用の可能性について研究を進めている。 <p>【課題】 とっとり学力・学習状況調査結果を活かした授業改善 ・小中7年間をつなぐ外国語学習の充実</p>	B		
3 情報教育の推進	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、各学校ごとに活用率の報告を実施。 1月、ICT活用研修会の開催を予定していたが、大雪のために中止。 プレゼンテーションコンテスト(7校応募) <p>【課題】 "ICTを活用した個別最適な学びの推進"</p>	B				

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価	
2 創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進	⑨	特別支援教育の充実	1	「個別の支援計画」と「個別の指導計画」の活用～支援を必要とする児童生徒を支える学校体制づくり～ 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動研修会は中部地区合同研修会として実施。西郷小学校で実際の授業を参観することができた。 ・個別の支援計画、指導計画の年間のまとめの実施とそれらを活用しての支援会議、引継の実施。 ・第2回就学支援委員会31名 ・第3回就学支援委員会28名 【課題】 ・特別支援学級担任以外の教員の特別支援教育に関する資質・能力の向上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を支援会議や引き継ぎで活用することで1人1人にあった支援を検討することができた。 ・個別の支援計画、指導計画を活用した支援会議の実施状況 小:91.6% 中:81.8% ・MIM6月→2月 3rd(個別指導費) 52%→34% 2nd(声かけ費) 15%→21% ・分析結果をもとに、カードやタブレットを活用し個別指導を行い、個別の支援が必要な児童(3rd)が6月に比べ減った。
			2	小学校1年生対象の読みに対する早期支援 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・MIMの検討会を開催し、個別の対応等について各学校に指示を行った。 ・3rdの児童に対する個別指導の教材等も紹介し、活用することができた。 	B		
3 安心・安全な教育環境の充実	⑩	組織的・機能的な学校運営	1	組織的・機能的な学校運営体制の確立 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 各校が、児童、保護者のアンケートや地域学校委員会等の評価を行い、改善に努めた。 【課題】 ・評価・育成制度的確かな活用による個々の教職員の資質・能力向上 ・危機対応を想定した組織運営 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価による課題把握と改善につなげた。 ・児童や保護者アンケート、地域学校委員会評価により、自校の課題の多面的な把握と改善を行い、組織的・機能的な学校運営を行うことができた。 ・校長会の指示連絡や安全衛生推進協議会により、各学校の有効な取組を共有し、教職員の働き方改革を進めた。 ・30時間超勤務教職員割合 令和3年度 30% 令和4年度 30% 令和5年度 25% ・教職員からのハラスメント相談はなかった。 ・各ブロック共同学校事務室による共同事務や分掌業務が効率的に行われた。ブロック間の情報共有による学校事務全体の業務改善へつながった。
			2	働き方改革の推進(ハラスメント防止・部活動の地域移行) 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生推進協議会を開催し、学校ごとの取組についての情報共有、学校行事の精選、部活動地域移行の方向性等について具体的な改善策を協議し、次年度の方向性を示した。 ・倉吉市としての方針を現在検討中であるため、検討会を実施できていない。 ・学校の実態を把握するための検討会を実施した。 【課題】 有効な方策の立案 	B		
			3	共同学校事務室の取り組み 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者会や業務担当者会を定期的に開催し、進捗状況の確認と改善につなげた。 ・学校徴収金システム研修会を開催し、システム導入を進めた。 ・重表による各学校事務処理点検を行い、適切な会計処理が行われるよう指導助言を行った。 【課題】 ・学校徴収金システム導入・運用のための協議 	A		
	⑪	安心して教育を受ける機会の推進	1	相談体制の充実 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> SSWrによる支援活動・各中学校の生徒支援委員会に担当者が出席し、情報共有と助言。教育相談員との連携。 ・小学校は定期訪問による連続欠席児童の聞き取り。支援会議、不登校対策会議等への出席。 ・喫緊の相談への聞き取りや関係機関との連携。 【課題】 不登校児童生徒の未然防止 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の学校復帰率(R6.2月末現在)継続的に登校 小34% 中38% 断続的に登校 小21% 中29% 登校チャレンジ 小10% 中5% 合計小学校は65%、中学校は72%の児童生徒が学校に復帰または復帰しようとしている。 ・SSWrの関わり 小学生:14名 中学生:19名 ・スクールカウンセラーの相談件数 小学生:延べ892件 中学生:延べ509件 ・心の教室相談員の相談件数 中学生:1,265件 ・児童生徒の個々のニーズに合わせた相談体制をとることができた。 ・援助を必要とする児童生徒に対し、延滞なく支給し、保護者の負担軽減が図れた。 ・適正に交付事務を執行できた。 ・今後も継続して周知の徹底を図る。
			2	教育助成の充実(就学援助事業の周知適切な執行) 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの学用品費や校外活動費、修学旅行費等の支給を行い、また、年度末には新規1年生の児童・生徒の保護者に対し入学準備金を支給し、保護者の負担軽減が図れた。 【課題】 次年度に向けた保護者への周知を徹底する。 	B		
			3	高校生等通学助成費助成の実施(周知と適正な執行) 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの助成を行い、遠距離から通学する児童、生徒の保護者の負担軽減が図れた。 ・生徒数が減少傾向にある中で制度の周知は浸透してきており、保護者への負担軽減は図れている。 【課題】 申請の遅れ、定期券の写しの取り忘れのないよう周知徹底を図る。 	B		

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 要 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価	
3 安心・安全な 教育環境の 充実	⑫	教育環境の整備 充実	1	学校施設の適正な維持 管理	教育総務課	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合に向け学校側と協議し、学校の希望を反映した工事を執行した。 ・久米小学校については、引き続き学校と打ち合わせを行い工事を執行する。 ・学校側との十分な協議、試行の検証を行い、全校の水泳事業の在り方について方針を決定する。
	⑬	学校の適正配 置の推進	1	適正配置協議会、各地域 説明会の開催	学校教育課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・両統合準備委員会での話し合いは順調に進み、協議事項は2月で終了となった。 ・統合準備委員会の会議録は、次回の統合準備委員会の開催後、HPにアップできた。 ・必要な情報は適宜説明会を実施したり、統合準備委員会だよりを作成し、該当地区には全戸配布、地区には班回覧で周知したりできた。
	⑭	文化教養施設・ 体育施設の設 備の充実	1	施設の長寿命化	博物館	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・長年の懸案だった展示室内及び管理部分(収蔵庫含む)の照明設備のLED化ができた。照明効果を上げるため、展示室1、2のガラスも撤去したことで展示室のリニューアル感も出た。人感装置も付加することで省エネ化にもつながった。
		2	体育施設の整備・充実 (陸上競技場改修等)	社会教育課	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・工事全体 工事については、倉吉市教育施設長寿命化計画に基づき、概ね計画どおりに進んでいる。 ・温水プール 令和4年度分繰越のヒートポンプ取替工事について、シーケンサを入荷し、予定通り工事を完了したが、本年度分の2期工事において、半導体不足等により、電線ケーブルの納品が困難となったため、令和6年度に繰り越すこととなった。 なお、現状のポンプを稼働し、休館していた温水プールを3月1日から再開した。 ・倉吉スポーツセンター合宿棟及び体育館について、陸上競技大会等の利用調整に伴い、工期延長したものの概ね予定通り合宿棟の外壁、体育館屋根の改修工事を完了した。 	
								<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していた工事は概ね計画通り執行でき、教育環境の充実が図れた。 ・統合に向けた工事をし、小鴨小学校については、今年度完了した。 ・久米小学校については、一部を次年度へ繰り越した。 【課題】常に学校、施工業者と課題を共有し進捗管理を行う。 ・水泳事業の在り方について検討し、次年度の試行についての具体的な協議を行い、次年度試行する学校を選定した。
								<ul style="list-style-type: none"> ・小鴨小・上小鴨小統合については、11月中旬に保護者・地元説明会を実施し、バスルート・新しい学校づくり等周知が終了していたが、1月に上小鴨地区児童が増加することとなり、急遽バスルートを増やして対応した。 ・北谷小・高城小統合については、12月に新校歌が決定し2月に保護者説明会を開催し周知を図った。地域への周知については、北谷地区振興協議会長が実施されたため、資料提供を行った。 ・スクールバスルートについても順調に決定し、保護者説明会、児童への安全教室を開催した。 【課題】 統合した2校の学校運営進捗管理
								<ul style="list-style-type: none"> ・照明設備のLED化は、繰り越し事業としたが、器具の調達や現場施工など計画以上に順調に進んだ。 ・国補助金を有効に活用するため、照明設備工事の工期を延長して電気系統分電盤の改修を行ったことで年度末まで事業がすれ込んだ。 ・消防設備改修工事は、高所作業を共有するため、照明設備改修工事に工期をあわせた。業者間の調整も比較的スムーズに進んだ。 ・その他、天井張替修繕工事、防水修繕工事も計画どおり執行した。 【課題】 ・25年の長寿命化策定計画から約10年、大規模な改修をほぼ終えることが出来た。一方、設備の劣化が進んだ機器等もあり改修は間断無く続けていく必要がある。 ・法改正による対応が速やかに出来るよう情報収集に努めておく必要がある。
								<ul style="list-style-type: none"> ・市営温水プールヒートポンプ取替工事(1期)については、ポンプを制御するシーケンサ(半導体関連部品)を納品・取付作業完了し、年度内に工事完了済。 ・市営温水プールヒートポンプ取替工事(2期)については、電線ケーブルの納期遅延により年度内の工事完成が見込めなくなったため、次年度へ繰り越すこととした。 ・市営温水プール屋上防水工事については、年度内に工事・業務完了済。 ・関金農林漁業者等健康増進施設LED取替工事については、年度内に工事・業務完了済。 ・体育施設等12条点検については、予定どおり実施済。 指橋事項(プール排煙窓等)を踏まえ、次年度予算要求済。 ・倉吉スポーツセンター体育館屋根改修工事を年度内に工事・業務完了済。 ・倉吉スポーツセンター外壁等改修工事については、年度内に工事・業務完了済。 【課題】 ・優先すべき改修等の計画的かつ早期着手に取り組む

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
4 たくましく健やかな心と体づくりの推進	⑮ 人権尊重社会の担い手づくり	1 「学校教育における人権教育の方針」に基づく人権教育の推進	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の安全教育」研修会を11月17日に開催。参集とオンデマンド配信での研修とし、倉吉市内への転入教職員及び希望教職員が受講。 ・第3回、4回人権主任者会を実施。 ・地区学習会計画訪問を行い、実施内容等確認。 ・公開については各学校で実施 【課題】 教職員の知識のアップデートと資質能力の一層の向上	B		<ul style="list-style-type: none"> ・生命の安全教育を昨年度に引き続き実施。感想には、アンテナをはること、ロールモデルとなることの大切さ、人権について改めて考えるきっかけとなった等の意見があった。 ・人権課題が増えている中で、学ぶ機会の確保、他の学校の成果や取組等の情報交換は重要だと思われる。 【全国学力学習状況調査の結果】 ・「自分には良いところがあると思う」と回答した児童生徒の率 小:85.5% 中:77.2% ・「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の率 小:77.4% 中:80.2% ・小中学校の不登校率(R6.2月末現在) 小:3.04% 中:8.77% ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の率 小:98.6% 中:96.9% ※成果指標 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以下 ・いじめ認知件数 令和4年度/令和5年度 小:47名/58名 中:61名/108名 ・授業時間以外でタブレットを活用している(遊び以外)児童生徒の率(1日30分以上) 小:39.5% 中:30.2%
		2 学校満足度アンケートの活用、相談体制の充実	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWRが各中学校で開催される「いじめ不登校生徒支援委員会」に出席し、生徒の情報共有と助言を行った。 ・小学校には3日欠席連絡で状況の聞き取りを実施。必要に応じて支援会議に参加し、早期支援を行った。 【課題】 調査結果の更なる有効活用	B		
		3 いじめを許さない学校体制づくり	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒支援委員会にSSWRが参加。(毎週、または隔週) ・SSWRによる定期的な訪問と情報共有の実施。 ・生徒指導研修会の実施。 ・不登校児童生徒への支援の在り方、校内体制、関係機関とのつなぎ方、アセスメントについて考える演習(内容)SSWRも参加。 ・青少年問題対策協議会を2月15日実施。 【課題】 適切な初期対応の徹底	B		
		4 情報モラル教育の推進	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校が継続して情報モラル教育の学習を進めた。 ・情報機器の活用については授業以外でも積極的に活用している。(委員会、自由研究) 【課題】 情報モラル教育のアップデート	B		
⑯ たくましい体の育成	1 学校体育の充実	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・体カテストの結果を踏まえ、体育の授業はもちろん、業間運動等で体づくりに取り組んだ。 ・今年度の結果を踏まえ、来年度の取り組みを検討し、報告書が提出される予定。 【課題】 ・児童生徒の日常的な運動量の増加	B		<ul style="list-style-type: none"> ・新体カテストの結果で「おおねよし」と判定された児童・生徒の割合 小:75.1%中:67.9% ※成果指標 A:80%以上 B:50%以上 C:50%以下 今後も各学校で運動時間の確保、体カテスト結果を踏まえての内容検討を行う。 	
		2 スポーツ活動機会の充実・子どもの年齢(成長)による体づくりの推進	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設等指定管理者の選定は、概ね、計画のとおり選定・決定し、協定書を締結した。 ・体育施設等は、通常のとおり体育施設等を閉館し、利用者に使用していただくことができた。 ・市営温水プールは、特に7月・8月の利用者が増加し、コロナ禍前の状況であった。また、安全・安心に施設を使用していた。 ・海洋センターは、年々、利用者数が減少している。 【課題】 ・新たな指定管理者との連携・調整が必要。 ・海洋センターの池の水位が低下し、環境的に危険な状況がある。	B		<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体 コロナ禍も落ち着き、各事業の準備、計画的に進めることができた。 ・施設利用 体育施設等及び温水プールの利用者数は増加した。 ・各教室 エアロビクス、ヨガ、ストレッチ、水中教室など計画のとおり実施した。 また、各地域においてスポーツ教室を実施した。
				<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設開放企画運営委員会を中心に体育施設の管理、日程調整できた。 【課題】 小学校統合による旧施設維持管理の検討が必要。			
				<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団を対象とした各競技ごとの交流大会を実施し、スポーツ少年団活動の促進を図るとともに、団員相互の交流を深めることができた。 【課題】 減少傾向にある団員の確保に対し支援策の検討が必要。			
				<ul style="list-style-type: none"> ・各種自主事業は概ね計画のとおり実施されている。 			

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
4 たくましく健やかな心と体づくりの推進	⑯ たくましい体の育成	2	スポーツ活動機会の充実・子どもの年齢(成長)による体カづくりの推進	社会教育課 ・体育施設の教室は、ミズノ運動塾「苦手克服～跳び箱・鉄棒教室」を実施し、定員を上回る申込があった。 ・温水プールは、コロナ禍も落着き、利用者増となった。 ・海洋センター教室は、カヌー全国大会へ出場された。 【課題】 各教室について、新たな事業を検討する必要あり。 中部駅伝は中部町村会及び4町と連携し、本来のコースで実施することができた。 ・市スポーツ表彰を行い、前年度を上回る受賞者数であった。 【課題】 中部駅伝の開催時期を検討する必要あり。	B	B	前ページのとおり
		3	生涯・障がい者スポーツによる体カづくりの推進	社会教育課 ・全国・中国地方・県研修会に参加し、地域スポーツの課題を研修し、委員の資質向上を図れた。 ・実技研修会3回、講習会1回、交流会、新体カテスト等を計画の通り実施した。 ・各地区スポーツ教室は、室内ベタンク等を実施し、楽しんで取組むことができた。 【課題】 幅広い年齢層が参加しやすい環境の整備が必要。	B		
		1	栄養教諭などによる学校での食に関する指導	学校給食センター ・給食主任や学級担任と連携し、「食に関する指導(学級訪問)計画表」に基づき、学年に応じたテーマで栄養教諭と学校栄養職員が小中学校全学級を対象に食に関する指導を行った。計130回実施。 ・学校給食週間の行事はコロナ禍前と同じ内容で実施(献立募集、特別献立、学校での表彰式と会食会、献立作品と給食に関する資料の展示)。 【課題】 取り組みは計画どおりに実施できているが、その効果が残食率等の結果に現れていない。	B		
	⑰ 学校給食の充実、食育の推進	2	親子で学ぶ食の教室の実施	学校給食センター ・小学校1年生の児童とその保護者が学校給食センターに来られて実施できるのは、3年ぶりであった。全小学校を学級ごとに開催し、計17回実施した。保護者アンケートの結果は概ね好評であった。 【課題】なし。取り組みを継続。	A	B	・令和5年度の残食率は前年度の4.7%から4.5%と、全体ではあまり変化は見られなかった。内訳では、小学校平均は4.3%から3.3%に減少、中学校平均は5.5%から6.6%に増加している。また学校による差も大きく、今後要因分析による改善策の検討が必要。 ・親子で学ぶ食の教室は2学期の実施となった。対象とする小学校1年生の児童が落ちついており、結果として単なる施設見学ではなく学習の場とすることができた。 ・スポーツ栄養学について、市内スポーツ少年団へ資料を提供することができた。
		3	スポーツ振興に関する食育の推進	社会教育課 ・鳥取県スポーツ栄養研究会と連携し、市内スポーツ少年団に対し、スポーツ栄養学に関する資料提供を行い、啓発活動を実施した。 【課題】 事業の在り方を検討する必要がある。	B		
	⑱ 体育・スポーツの振興	1	スポーツ団体の育成・指導者の養成	社会教育課	・各種会議(理事会等)について、対面形式で開催し各協議事項等について概ね審議することができた。 ・市民体育大会は、全18競技を予定通りの日程で実施することができた。 ・市スポーツ表彰を予定通り実施することができた。受賞者数は72名。 【課題】 市民体育大会参加人数は前年比増であったが、減少傾向の競技があり、参加者の確保が検討課題。 ・スポーツ少年団の登録について、登録を希望する25団体の登録事務を円滑に実施することができた。 【課題】 減少傾向にある団員の確保に対し支援策の検討などが必要。 ・体育協会補助金は、指導者研修会の中止や県民スポーツ派遣員の実績減等があったが、その他については概ね計画どおり執行することができた	B	B

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
4 たくましく健やかな心と体づくりの推進	⑮ 体育・スポーツの振興	1 スポーツ団体の育成・指導者の養成	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者資格の取得・更新等に係る経費の一部を助成することで、スポーツ少年団の負担軽減を図った。 ・全国大会出場件数が増加したが、予算内で出場者の負担を軽減することができた。 【課題】 補助対象回数、補助金上限額等の検討が必要。	B	B	前ページのとおり
		2 競技スポーツの振興・障がい者スポーツの普及・啓発	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者事業により障がい者スポーツの普及・啓発ができた。 ・ニュースポーツ交流会を実施し競技スポーツの振興を図ることができた。 ・スポーツハラスメント研修会は、降雪により講師不着となったため中止した。 【課題】 開催時期の検討余地あり。	B		
5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興	⑯ 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	1 小中学生リーダー会議	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で地域と連携した取組を行うことができた。 ・今年度は活動の範囲も広がりたくさんの人と関わることができたという報告会を開催でき、市内児童生徒の意見交換も活発にできた。 【課題】 決定事項の教育課程への位置付けの推進	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域学校ボランティアの方と共同での開催ができた。 ・文化財課との連携を復活し、社会福祉協議会との連携を新たに行うことができた。 ・くらし風土記の活用、地域との連携、校外の施設見学等、各校が工夫を凝らしたふるさと学習を実施した。(全小中学校実施) 小中学校行政評価結果「くらしが好き」と答えた割合 <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市85.8% ・小学校90.9% ・中学校75.0%
		2 「くらし風土記」「わたしたちの倉吉」の活用	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの倉吉」及び「くらし風土記」を活用した学習が各学校で展開された。 ・全ての中学校で「倉吉学校定」が実施された。(市内5中学校) 	B		
		3 地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、大変興味深く鑑賞していた。 ・上限人数の関係で集合学習での鑑賞を実施した学校あり。 ・各校が工夫を地域からGTを招いたり、地域へ出かけたしながら、工夫を凝らしたふるさと学習を実施した。 	B		
	⑰ 文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の修理・修景	文化財課	<ul style="list-style-type: none"> ・修理事業に対する補助支援は概ね計画とおりに実施できた。 ・地区住民から修理修景事業の要望を聞き取り、令和6年度事業の申請を国に提出した。 ・町並み保存会に協力して、保存会に新たに保存活用部会を創り住民の相談に答えられる体制となった。 ・記念フォーラムでは、住民、観光、商いとそれぞれ違う立場の意見・考えをそれぞれが共有して、今後のまちづくりに生かせる取り組みができた。 ・学校・社会教育の学習・調査に協力した。 【課題】伝建地区の活性化に向けた庁内の連携を深める必要がある。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財や伝建地区の修理、未指定文化財の調査等を行うことにより、地域の財産である文化財を残し、これを次世代に伝承する取り組みができています。 ・伝建地区内の空き家の増加や伝建地区だけでなく文化財所有者の高齢化などの問題が深刻化しているため、個別の修理相談や関係機関との連携対応を行うことにより、諸問題の解決を図る必要がある。 ・市文化財の啓発活動により、倉吉の魅力発信と、倉吉に愛着を持っていただく取り組みはできている。 ・しかし、多くの方に倉吉の文化財の素晴らしさが届き切っていないとは言えない。更なる啓発活動の必要性がある。
		2 指定文化財の整備・保護・活用	文化財課	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡大御堂庵寺跡整備事業では、限られた予算の中で最大限の工事を行い、整備の進捗を図った。また、令和6年度事業については、令和7年春の県立美術館開館を見据えた整備が行えるように文化庁・県文化財局等と協議して予算の確保及び整備計画を定め、市民の歴史教育の場、憩いの場となるように進めている。 	B		

令和5年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主 な 施 策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
5 文化資源の 保存活用と文化・ 芸術の振興	⑩ 文化財の保存、 活用、伝承	2 指定文化財の整備・保 護・活用	文化財課	<p>・指定文化財の修理等に対する補助支援は概ね計画とおりに実施してきたとともに、新たに2件の有形文化財を市指定文化財に指定した。</p> <p>・市民団体等と協働で文化財の啓発活動を行い、市民の方に倉吉の文化財を知っていただいた。</p> <p>【課題】大御堂廃寺跡の整備の進捗は、国の補助金の配分によって左右されるため、毎年1月に示される翌年度補助金の内示によりスケジュールを見直し、関係機関と協議・調整する必要がある。</p>	B	B	前ページのとおり
		3 埋蔵文化財の発掘調査	文化財課	<p>・開発事業者と調整を行い、試掘調査、現地踏査、工事立会を通じて開発行為のスケジュールに支障がないようにするとともに、多くの埋蔵文化財の照会にも対応し、埋蔵文化財の保護を行った。</p> <p>・大御堂廃寺跡発掘調査では、これまで南側でしか確認されていなかった築地堀を、中心伽藍より北側の位置で確認し、寺域確定の一助となった。しかし、寺域の北限が確認できなかったため、令和6年度にも引き続き発掘調査を行うこととした。</p> <p>【課題】当初予定にない調査を依頼される場合があるが、この場合、その他の調査と日程調整が必要となり、調査員の負担軽減が必要。</p>	B		

6 教育委員会の主な動向

(1) 教育長・教育委員の在任状況

(R 6. 3. 31 現在)

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期	保護者
教育長	小椋 博幸	65	R 3.10.3	R 6.10.2	
教育長職務代理者	田民 義和	66	R 2.10.5	R 6.10.4	
委員	高橋 義博	61	R 4. 1. 1	R 7.12.31	
委員	伊木 香代	59	R 5. 7. 4	R 8.10.7	
委員	徳丸 桃子	37	R 5.10.5	R 9.10.4	○

①委員の異動（市長が任命）

令和5年 7月4日付で伊木委員が就任された。

令和5年10月4日付で西田委員が辞職された。

令和5年10月5日付で徳丸委員が就任された。

(2) 教育委員会の会議

(R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31)

会議名	回数	備考
教育委員会	19	議案37件、協議事項21件、報告事項220件

(3) 教育委員会の開催状況

4月28日第8回定例会

議案（2件） 議案第21号 倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

議案第22号 鳥取県中部地区教科用図書採択協議会の採択協議会委員の選出について

協議事項（3件） 令和5年度倉吉市教育方針と重点施策について
令和4年度倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価（案）について
令和5年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画（案）について

報告事項（23件） 教育長報告ほか22件

5月8日第9回臨時会

協議事項（2件） 倉吉市立小鴨小学校と上小鴨小学校の廃止及び新「倉吉市立小鴨小学校」の設置について

倉吉市立北谷小学校と高城小学校の廃止及び「倉吉市立久米小学校」の設置について

5月12日第10回臨時会

議案（4件） 議案第23号 倉吉市立小鴨小学校と上小鴨小学校の廃止及び新「倉吉市立小鴨小学校」の設置について

議案第24号 倉吉市立北谷小学校と高城小学校の廃止及び「倉吉市立久米小学校」の設置について

議案第25号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

議案第26号 倉吉市教育委員会公印規則及び倉吉市立小学校及び中学校の校区に関する規則の一部改正について

5月30日第11回定例会

議案（1件） 議案第27号 令和4年度倉吉市教育行政の点検及び評価について

報告事項（16件） 教育長報告ほか15件

6月29日第12回定例会

報告事項（19件） 教育長報告ほか18件

7月24日第13回定例会

報告事項（15件） 教育長報告ほか14件

8月22日第14回定例会

議案（3件） 議案第28号 令和5年度教育費補正予算について

議案第29号 倉吉市立小鴨小学校の校章について

議案第30号 令和6年度に使用する小学校教科用図書の採択について

協議事項（1件） 倉吉市立成徳小学校の校名変更にかかる倉吉市教育委員会方針について

報告事項（19件） 教育長報告ほか18件

9月19日第15回臨時会

議案（1件） 議案第31号 倉吉市立久米小学校の校章について

9月28日第16回定例会

協議事項（2件） 成徳小学校校名変更に係る家庭アンケート（公募）案について

令和6年度当初予算要求の考え方について

報告事項（20件） 教育長報告ほか19件

10月18日第17回臨時会

議案（1件） 議案第32号 倉吉市立成徳小学校の校名変更に係る校名候補の選定について

10月25日第18回定例会

協議事項（2件） 令和5年度教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況について

令和6年度当初予算要求について

報告事項（15件） 教育長報告ほか14件

11月6日第19回臨時会

協議事項（1件） 倉吉市立成徳小学校の新たな校名案の選定について

11月22日第20回定例会

- 議案（5件） 議案第33号 令和5年度教育費補正予算について
 議案第34号 倉吉市立成徳小学校の新たな校名の決定について
 議案第35号 倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について
 議案第36号 倉吉市教育委員会公印規則及び倉吉市立小学校及び中学校の校区に関する規則の一部改正について
 議案第37号 倉吉市立小学校及び中学校管理規則及び倉吉市教育委員会事務局等組織規則の一部改正について
- 協議事項（1件） 令和5年度末倉吉市学校教職員人事異動方針について
- 報告事項（19件） 教育長報告ほか18件

12月26日第21回定例会

- 議案（3件） 議案第38号 市立小学校教職員の処分について
 議案第39号 市立小学校教職員の処分について
 議案第40号 市立中学校教職員の処分について
- 協議事項（1件） 令和5年度倉吉市教育委員会表彰について
- 報告事項（21件） 教育長報告ほか20件

1月24日第1回定例会

- 協議事項（3件） 文化財保護に関する事務の市長部局への移管について
 倉吉市立中学校統一型制倉吉市立中学校における部活動の地域連携・地域移行について服導入について
- 報告事項（15件） 教育長報告ほか14件

2月21日第2回定例会

- 議案（4件） 議案第1号 倉吉交流プラザの管理及び運営に関する規則及び倉吉市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部改正について
 議案第2号 倉吉市教育委員会教育長の辞職の同意について
 議案第3号 倉吉市立小学校教職員の処分について
 議案第4号 倉吉市立小学校教職員の処分について
- 協議事項（1件） 第3期倉吉市教育振興基本計画の改訂について
- 報告事項（16件） 教育長報告ほか15件

3月8日第3回臨時会

- 議案（1件） 議案第5号 令和5年度末倉吉市学校教職員人事異動について
- 協議事項（1件） 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例制定等に係る意見聴取について

3月11日第4回臨時会

- 協議事項（1件） 市内小中学校の生徒指導上の対応について

3月26日第5回定例会

- 議案（13件） 議案第6号 第3期倉吉市教育振興基本計画の改訂について
 議案第7号 令和6年度倉吉市の教育方針と重点施策について

- 議案第8号 令和6年度倉吉市教育委員会主要事業について
- 議案第9号 倉吉市教育委員会公告式規則の一部改正について
- 議案第10号 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について
- 議案第11号 倉吉市教育委員会公印規則等の一部改正について
- 議案第12号 倉吉市立学校県費負担教職員旧姓使用取扱規程及び倉吉市立学校教職員の訓告等取扱規程の一部改正について
- 議案第13号 倉吉市教育委員会が施行する文書の公印の押印の省略等に関する規則の制定について
- 議案第14号 倉吉市教育委員会に提出する書類の押印の省略等に関する規則の制定について
- 議案第15号 倉吉市指定有形文化財の指定について
- 議案第16号 倉吉市指定有形文化財の指定について
- 議案第17号 令和6年度倉吉市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- 議案第18号 地域学校委員会委員の任命について
- 協議事項（2件） 倉吉市立中学校統一型制服導入について
市内小中学校の生徒指導上の対応について
- 報告事項（22件） 教育長報告ほか21件

(4) 総合教育会議の開催状況

5月30日第1回総合教育会議

- 報告事項（1件） 令和4年度倉吉市教育行政の点検及び評価について
- 協議事項（5件） 中学校での進路指導について
中学校部活動の地域移行について
小中学校不登校支援について
コミュニティセンター活動の充実に向けた部局間の連携について
令和5年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画について

12月26日第2回総合教育会議

- 協議事項（2件） 地元高校の魅力化の取り組みについて
ファミリーホリデー（仮称）〔体験的学習活動等休業日〕について

(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加

① 学校計画訪問

R5.7.7	西中学校計画訪問
R5.7.13	成徳小学校計画訪問
R5.9.19	鴨川中学校計画訪問
R5.9.25	西郷小学校計画訪問
R5.10.5	小鴨小学校計画訪問
R5.10.13	社小学校計画訪問
R5.10.24	北谷小学校計画訪問
R5.11.1	河北中学校計画訪問
R5.11.9	久米中学校計画訪問
R5.11.15	上小鴨小学校計画訪問
R5.11.24	高城小学校計画訪問

② 諸行事への出席

R5.4.4	宣誓式
R5.4.7	特別展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」開幕式
R5.4.12	新 成徳小学校開校式
R5.4.13	倉吉市立小学校入学式
R5.4.13	倉吉市立中学校入学式
R5.4.17	市町村教育委員会研究協議会理事会
R5.4.21	全国市町村教育委員会連合会第1回常任理事会
R5.5.12	倉吉市小・中学生リーダー会議
R5.5.17	全国都市教育長協議会
R5.5.30	令和5年度第1回倉吉市総合教育会議
R5.6.2	倉吉市東伯郡教育委員会合同研修会
R5.7.13・14	中国地区市町村教育委員会連合会監査会・理事会・定期総会・研修会
R5.7.21	鳥取県教育委員会研究協議会理事会・定期総会・懇親会
R5.7.7	全国市町村教育委員会連合会常任理事会
R5.7.21	鳥取県教育委員会研究協議会理事会・定期総会・懇親会
R5.7.26	灘手地区保護者と教育委員との意見交換会
R5.7.28	R5思春期保健対策講演会
R5.9.9	中学校運動会
R5.9.9	照明設備改修事業寄附顕彰プレート披露（倉吉博物館）
R5.9.9	第11回前田寛治大賞展表彰式 ギャラリートーク
R5.9.9	第11回前田寛治大賞展 レセプション
R5.9.16	大坂弘道記念碑除幕式・ギャラリートーク
R5.10.29	市制施行70周年記念式典

R5. 11. 5	第68回倉吉市美術展覧会開会式
R5. 11. 19	第68回倉吉市美術展覧会表彰式
R5. 12. 26	令和5年度第2回倉吉市総合教育会議
R6. 1. 3	令和6年倉吉市はたちのつどい
R6. 1. 4	倉吉市教育委員会新年祝賀会
R6. 1. 24	倉吉市学校給食週間優秀賞表彰式・会食（小鴨小学校）
R6. 1. 25	倉吉市学校給食週間優秀賞表彰式・会食（北谷小学校）
R6. 1. 26	倉吉市学校給食週間優秀賞表彰式・会食（西中学校）
R6. 1. 26	倉吉市小中学生リーダー会議
R6. 1. 29	倉吉市学校給食週間優秀賞表彰式・会食（上北条小学校）
R6. 2. 2	令和5年度市町村教育委員会委員等研修会
R6. 2. 6	令和5年度打吹公園だんご教育奨励賞・倉吉市教育委員会表彰表彰式
R6. 2. 17	倉吉市体育協会スポーツ表彰式（日本海新聞ふるさと大賞表彰式）
R6. 2. 17	第68回倉吉文芸表彰式
R6. 2. 17	倉吉市創作文華展表彰式
R6. 3. 2	第12回山上憶良短歌賞表彰式・講演会
R6. 3. 2	市制70周年記念特別展「匠たちのTSUBAKI・椿・つばき」展開会式
R6. 3. 8	中学校 卒業式
R6. 3. 15	小学校 卒業式
R6. 3. 17	北谷小学校 閉校式
R6. 3. 22	小鴨小学校 閉校式
R6. 3. 23	高城小学校 閉校式
R6. 3. 24	上小鴨小学校 閉校式